ALSO プロバイダーコース
in 東京医療保健大学

近年日本の産科医療の現場では、高齢出産や不妊治療の増加に伴い、ハイリスク妊産婦が増加している。また、産科に従事する医師のマンパワー等の問題もあり、産科救急医療は産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科救急医療を維持するには、産科救急医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースが **Advanced Life Support in Obstetrics （ALSO）** である。ALSO は、医療プロバイダーを対象とした周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための 2 日間の教育コースである。産科合併症、難産、蘇生事例、出血等への緊急対応等の講義や実技を行い、研修修了後に筆記試験と実技試験により ALSO-Japan より認定書が交付される。ALSO による普及活動は世界的に行われており、現在までに 50 ヵ国以上でプロバイダーコースが開催され、10 万人以上が ALSO コースを完了している。

東京医療保健大学大学院看護学研究科高度実践助産コースでは、助産師に必要な能力の一つとして**「周産期における緊急時に対応できる知識・技術の実践能力と、医師と協働し適切に対応できる連携能力」**を教育理念に掲げている。このような特徴から、周産期医療の益々の充実を図るために、本大学院に於いて例年ＡＬＳＯプロバイダーコースを開催し、高度助産実践者育成教育を行っている。ALSO コースは本大学院の実習施設である独立行政法人国立病院機構の周産期医療に携わる医師・助産師などの協力体制作りの一環としても位置付けられている。

【開催概要】

期　日：平成 30 年 3 月 10 日（土）、11 日（日）
会　場：東京医療保健大学東が丘・立川看護学部
　　東京都目黒区東が丘 2-5-1
対　象：助産師・医師　**※一般公募はいたしません**
受講料：40,000 円（認定料、講義資料等、含）
（大学主催のコースのため学生の受講料は 30,000 円）
主　催：東京医療保健大学

2018 ALSOプロバイダーコース in 東京医療保健大学 コーススケジュール

2018 ALSO-JAPAN PROVIDER COURSE DAY 1
3月10日（土）
8:00 AM – 8：30 AM　受付
8:30–8:50 AM　オープニング＆プレテスト
8:50 AM –9:50 AM（60分） L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性
10:00 AM –11:45 AM（1時間45分） E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例検討
11:45 AM – 0:40 PM（55分）　ランチ （0:00 PM – 0:30 PM　ランチョンレクチャー）　F: Labor Dystocia 難産
0:40 PM – 2:00 PM（1時間20分） H: Assisted Vaginal Delivery 補助経腟分娩
2:10 PM – 3:20 PM（1時間10分） I: Shoulder Dystocia 肩甲難産
3:30 PM – 6:00 PM（2時間30分） J: Post Partum Hemorrhage 分娩後大出血＆妊婦蘇生
6:10 PM – 6:40 PM（30分） C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血
2018 ALSO-JAPAN PROVIDER COURSE DAY 2
3月11日（日）
復習タイム7:45～8:20
8:30 AM – 9:30 AM（1時間） G: Malpresentations/Malposition プレゼンテーション異常・ポジション異常
9:40 AM – 10:10 AM（30分） A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症
10:20 AM – 12:00 AM（1時間40分） B: Medical Complications & OB Cases 内科的合併症と症例検討
0:00 PM – 0:45 PM　ランチ＆ランチョンレクチャー （0:15 PM – 0:45 PM）　D: Preterm Labor and PROM 早産と前期破水
0：45PM – 1:00PM 写真撮影
1:00 PM –4:00 PM 筆記試験、実技試験（メガデリバリー）
エンディングマーク